

平日交通対策について

平成24年度におけるモビリティ・マネジメントの実施方針

1. 前回までの取組概要(実態調査)

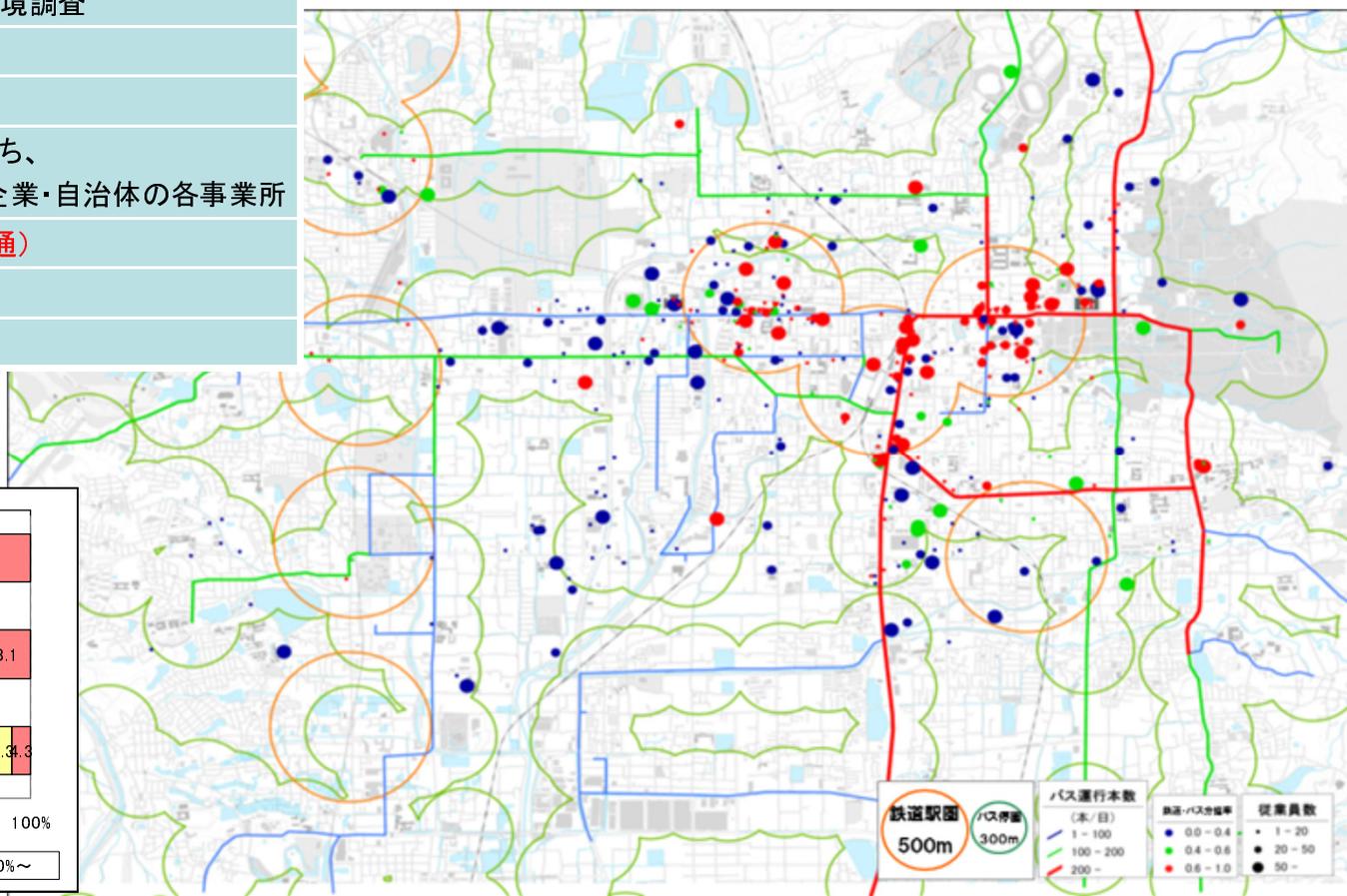
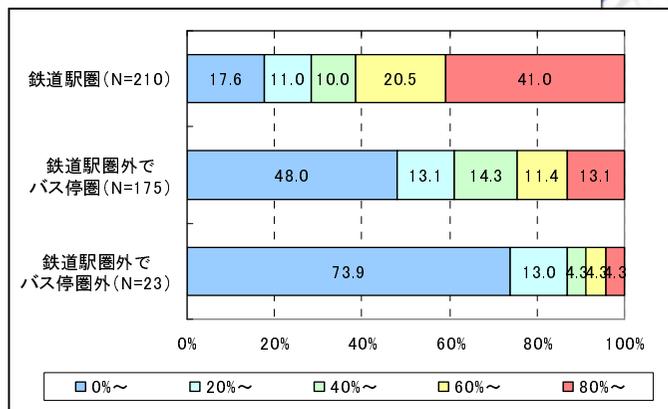
事業所通勤実態調査の実施目的

平日の朝・夕に中心市街地内で生じている交通混雑について、公共交通への転換促進を図ることによる混雑緩和の可能性について検討するため、中心市街地内の各事業所における通勤実態やマイカー通勤自粛に対する考えを把握し、さらに利用者のニーズに沿った公共交通利用促進策を検討するための基礎資料とすることを目的に事業所に対するアンケート調査を実施した。

◆調査の概要

調査名	通勤に関する公共交通の利用環境調査
調査期間	平成23年2月9日～28日
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
調査対象	奈良中心市街地内の事業所のうち、 総従業員数が10人以上の民間企業・自治体の各事業所
配布数	1,177通 (※1事業所に対して1通)
回収数	424通
回収率	36.0%

【事業所の鉄道・バス分担率】

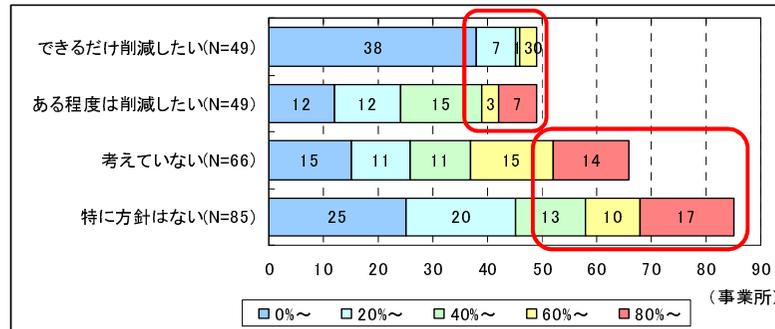


2. 取り組み方針(案)

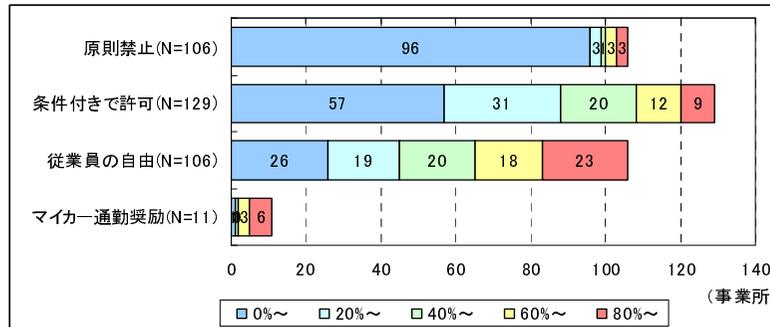
■調査結果

- ◆鉄道駅圏・バス停圏にもかかわらず、自動車分担率が高い事業所がある。
- ◆マイカー通勤の削減意向が高いほど、自動車分担率が高い事業所が少ない。
- ◆マイカー通勤の削減意向がある事業所でも、自動車分担率が高い事業所が存在する。
- ◆条件付で許可、従業員の自由となるにつれて、自動車分担率の高い事業所は多くなる。

【マイカー通勤削減意向別の自動車分担率】



【マイカー通勤に対する方針別の自動車分担率】



※鉄道駅圏(500m以内)・バス停圏(300m以内)の事業所を対象

■実施方針

- ◆公共交通の利用環境が整っていても、利用転換が進まない事業所がある。
- ◆事業所の公共交通利用の意識が高いほど、自動車利用は少なくなる。
- ◆公共交通への利用転換は、従業員の意向が重要となる。



設備投資やサービス改善、あるいは公共交通の値下げなどを行わず、事業者や従業員の意識の喚起により、鉄道・バスへの利用転換を図る。



MM(モビリティ・マネジメント)の実施

- ◆モビリティ・マネジメントとは
一人ひとりのモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通施策
- ◆特徴
コミュニケーションアンケートを中心としており、設備投資やサービス改善、あるいは、公共交通の値下げなどを行う必要がない

3. 利用転換の取り組み(案)

■事業所の意見

- ◆ アンケート回答事業所のなかから、マイカー通勤の削減意向がある事業所を訪問し、通勤実態の聞き取り調査と、来年度の利用転換の考え方を説明。
- ◆ 事業者より、利用転換の進め方について、通勤費の増大などの意見がよせられた。

■委員の意見(京都大学:藤井教授(当協議会副会長))

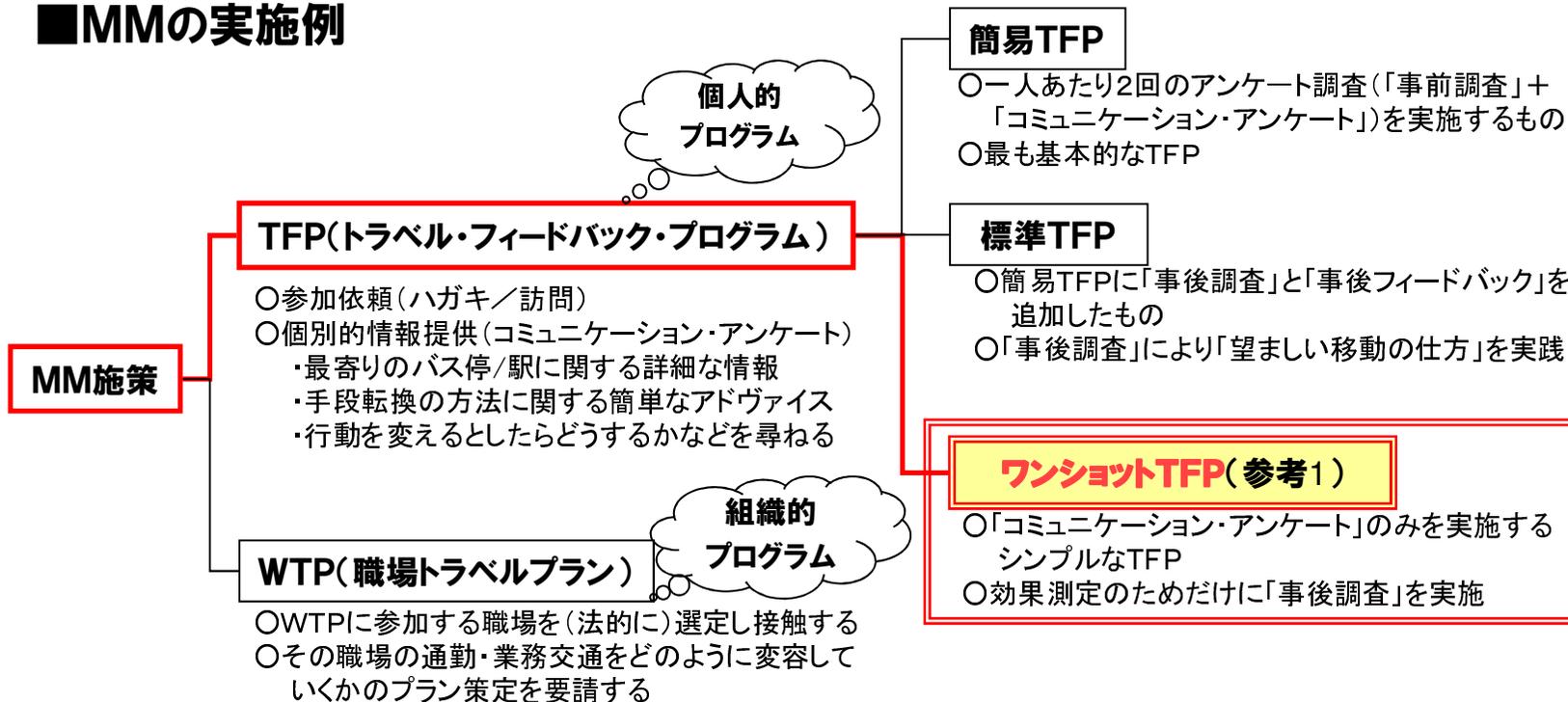
- ◆ 事業所の参画を促すには、事業所負担の少ない手法の採用が好ましいという意見がよせられた。

事業者からの意見

- 通勤費の増大
- マイカーを業務で使用
- 通勤時間と合っていない
- バス本数が少ない
- 駅・バス停から遠い など

来年度MMの実施内容として、事業者等の負担が少なく、より多くの事業者を対象とする「ワンショットTFP」を実施

■MMの実施例



ワンショットTFPの事例

- 【実施地域】
京都府 宇治市
- 【参加対象】
約150社
- 4,365人 (回答3,002人)
- 【回答率】 68.8%
- 【効果】
クルマ通勤をできるだけ控えてみようと思っている人が増加
47.8% → 54.6%

事業者負担が少ない。
多くの事業者を対象

4. 今後の方針(事業所の参画)

- 「ワンショットTFP」の対象事業所として、前年度調査に回答頂いた事業所より、マイカー通勤削減の意向が高く、利用転換が可能な公共交通が整備されている事業所より、**15事業所程度**を選定。
- 事業所の参画を促すため、「**エコ通勤優良事業所認証制度**」の取得など、事業者のメリットとなるような情報を積極的に発信し、参画への理解を得る。

		公共交通の利用環境		
		鉄道圏内 バス停圏内	鉄道圏外 バス停圏内	鉄道圏外 バス停圏外
		96事業所 (2,103人)	298事業所 (7,597人)	27事業所 (1,380人)
マイカー通勤削減意向	削減意向あり 113事業所 (3,213人)	41事業所 (1,112人)	60事業所 (1,705人)	12事業所 (396人)
	削減意向なし 163事業所 (3,993人)	54事業所 (990人)	98事業所 (2,345人)	11事業所 (658人)
	未回答 145事業所 (3,876人)	1事業所 (3人)	140事業所 (3,547人)	4事業所 (326人)



**15事業所程度を選定
(300人程度)**

(民間企業、官公庁・学校)

5. 今後のスケジュール



ワンショットTFPのアンケート内容(宇治市の例)

参考1

■コミュニケーションアンケート

かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト・アンケート

—ご協力をお願い—

宇治地域にお勤めの皆さんへ

宇治市中心部には、さまざまな企業や事業所等が集中しており、朝夕には慢性的な渋滞が発生しています。

渋滞は、ドライバーに“苦痛”を与えるだけでなく、沿道や大気そして“地球環境”に悪影響を及ぼす、深刻な問題になっています。

この問題に取り組むため、私たちはかしこいクルマの使い方を考えるプロジェクトを立ち上げることといたしました。本アンケートはその一環として、宇治地域にお勤めの皆さんを対象に実施するものです。

ぜひともご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 17 年 9 月

宇治地域通勤交通社会実験推進会議
(国土交通省 京都府 宇治市 宇治商工会議所)

【ご回答に当たってのお願い】

- **10分程度**で回答可能です。
- 中面のアンケート調査票にご回答の上、**9月16日(金)まで**に提出いただくようお願いいたします。
- 回答いただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個人の情報は一切公表いたしません。
- なお、「かしこいクルマの使い方プロジェクト」にモニター登録された方は、ご回答いただかなくても結構です。

※ご質問等は、下記までお問い合わせください。

【内容に関するもの】京都府交通対策課 tel:075-044388 山城北土木事務所 tel:0774-0457
宇治市都市計画課 tel:0774-22-3141 (内線2410)

【回収に関するもの】各事業所の御担当部署



- 問1 現在、どの交通機関で通勤していますか？
ここに通勤で何日ずつだったかを記入してください
 ※「電車」「それ以外」にご記入の方は、
 具体的な交通機関を、右の口に「√」を付けてください。

1. 自動車 週に 日
 2. 電車・バス 週に 日
 3. それ以外 週に 日

JR
 近鉄
 京阪
 徒歩
 自転車
 タクシー
 路線バス
 その他()

- 問2 普段の通勤の出発・到着の時刻は？

時 分 自宅を出発し
 時 分 職場に到着する

- 問3 あてはまる口に“レ印”をつけて下さい。※ここでのクルマ通勤とは運転することだけでなく、「同乗」も意味します。

- ①クルマでの通勤は、あまり**遅延**によくないと思いますか？
 ②クルマでの通勤は、あまり**健康**によくないと思いますか？
 ③クルマ通勤は、できることなら**誰かの方が良い**と思いますか？
 ④クルマ通勤を、**できるだけ減らしてみよう**と思いますか？

全く、その思わない どちらでもない とてもその思う

- 問4 自宅から自転車で、
通勤しようと思えばできると思いますか？

できる/やっている
 無理ではないが、難しい
 新しく買えば、できる
 絶対に、無理

- 問5 自宅からバイクで、
通勤しようと思えばできると思いますか？

できる/やっている
 無理ではないが、難しい
 新しく買えば、できる
 絶対に、無理

- 問6 皆さんに、「電車やバス」を使った通勤についてお聞きします。

- ① まず、同封の「宇治地域 通勤マップ」をご一読下さい。

- ② 電車・バスで、通勤しようと思えばできると思いますか？

できる/やっている
 無理ではないが、難しい
 絶対に、無理(→問7へ)

- ③ 電車・バスで通勤する場合の、
職場の最寄りの駅・バス停は？ (例: JR宇治駅)

- ④ その駅・バス停と職場の間は、どのように移動しますか？ (あてはまるもの全てに√を)

徒歩 自転車 タクシー 路線バス その他()
 家の自転車を使う
 新しく買う
 その他()

時 分 発
のバスに乗る

ワンショットTFPのアンケート内容(宇治市の例)

■コミュニケーションアンケート

問7 通勤にクルマを少しでも利用している方にお聞きします。(クルマ通勤を全くしていない方は、問9へ)

① 普段、職場に到着するのは、8時~8時半の間ですか？

- はい
 いいえ (→ 問8 にお読み下さい)

② 一部のクルマが、出発時刻をずらすだけでも、**渋滞は大きく緩和**することが知られています。
出発時刻を変えることは、可能だと思いますか？

- 絶対無理 (→ 問8 にお読み下さい)
 無理ではないが難しい
 できると思う

③ 出発時刻を変えたら、
何時頃、職場に着くように、
何時頃に、自宅を出ようと思いますか？

時	分頃	職場に着くように
時	分頃	自宅を出ようと思う

問8 再び、通勤にクルマを少しでも利用している方にお聞きします。

① まずは同封の小冊子、「**かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト 宇治2005**」をご一読下さい。

② クルマ以外で通勤するとしたら、何を使いますか？(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 徒歩 | <input type="checkbox"/> JR |
| <input type="checkbox"/> 自転車 | <input type="checkbox"/> 近鉄 |
| <input type="checkbox"/> タクシー | <input type="checkbox"/> 京阪 |
| <input type="checkbox"/> 路線バス | <input type="checkbox"/> その他() |

③ その場合、ご自宅から職場まで、どのような**経路**で通勤しますか？
右下の<記入例>を参考に、下の箱にご記入下さい。

<記入例>

(ステップ1) まずは、**職場と自宅**を記入
(ステップ2) 通勤の**経路**を、線で記入
(家名があれば、その名前も記入)
(ステップ3) 線の近くに「徒歩」「JR」など
交通機関を記入

宇治地域 通勤マップをご参照ください

問9 9月下旬にアンケート調査を予定しています。おって、アンケート用紙(今回の**半分以上**の分量です)をお送りいたしますので、もしよろしければ「事業所名」と「お名前」をご記入下さい。

事業所名

所属名

お名前

ご協力、ありがとうございました。

交通や環境の問題は、
ひとり一人に、少しずつご協力いただければ、
大きく改善されるかもしれません。

もし、できそうな事があれば、
できそうな時から、
少しずつ、ご協力下さい。

宇治地域通勤交通社会実験推進会議
(国土交通省 京都府 宇治市 宇治商工会議所)



地域の公共交通がどうすればより使いやすいか、もし、ご意見ございましたら、是非、お聞かせください。

意見記入欄

注) 本プロジェクトでは、9月21日・22日に、宇治地域の事業所にお勤めの方々と一緒に「かしこいクルマの使い方を考える取り組み」を企画しています。
もしよろしければ、皆様もその機会に「かしこいクルマの使い方」をお考え下さい。

